

報道関係者各位

2018年7月30日
株式会社D&I

オリンピック・パラリンピック教育研修(障害者理解教育) に D&I が協力団体として参加

2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者理解教育

2018年7月26日(木)、新宿区教育委員会主催の「オリンピック・パラリンピック教育(障害者理解教育)」研修に、D&I(ディーアンドアイ)が、協力団体として招待され参加しました。2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者理解教育研修として、新宿区立小中学校職員向けに開催され、約70名が参加しました。



■概要

平成30年度夏季研修「オリンピック・パラリンピック教育(障害者理解教育)」
主催 : 新宿区教育委員会
日時 : 2018年7月26日(木)13:30~16:30 (会場:新宿区立愛日小学校)
講師 : 村上 光輝 氏(日本ボッチャ協会)
協力 : 新宿区社会福祉協議会、福祉教育体験学習協力者及び団体
参加者 : 約70名(新宿区立小中学校職員、障害当事者、支援団体職員)
内容 : ボッチャ体験、障害者理解教育の充実に向けた意見交流

■実施内容

当日はポッチャ体験と意見交流(グループワーク形式)が実施されました。

前半のポッチャ体験では、普段接する機会が少ない競技のためか、参加者の多くが狙い通りにボールを投げることができず、苦戦している様子でした。

講師の村上 光輝 氏(日本ポッチャ協会)が、「競技を良く知る人が投げ方を教えても、体格や筋肉量が異なるため、かえってアドバイスにならない。それぞれの選手に合わせて、どうしたら投げやすいかを、対話しながら見つけていく」と述べていました。ポッチャを通じて、障害理解の第一歩はお互いに歩み寄ることの大切さであることを体感できる体験でした。



後半はグループワーク形式で以下のテーマについて意見交換が実施されました。

<意見交換のテーマ>

- ・障害当事者との交流を通じて子どもたちに育みたい姿、学習を通して期待する変化
- ・学校が障害当事者や関係団体へ学習の中で期待すること
- ・学校と障害当事者と関係団体がよりよい関係を気付くために必要なこと

グループワークでは次のような発言が出ていました。

- ・「生徒の方が意外と偏見なく、障害当事者とすぐに打ち解けあうことができる。むしろ、大人に、そういった偏った見方があるのではと気づかされる」
- ・「目が見えない方の生活について、生徒が話を聞くことで、同じように日常生活を送っていることを知ることが、共生できる社会に近づいていく」
- ・「オリンピック・パラリンピックが終わってからも、学校として福祉教育を継続できる体制にすることが大切」

D&I では、障害者理解の促進のために、研修会参加や出張講座を引き続き実施していきます。

■株式会社D&Iについて(<https://di-corp.jp>)

障害者雇用コンサルティング事業で2009年に創業。従業員数100名(2018年6月時点)、9事業所(2018年6月時点:港区、新宿区、大田区5ヶ所、川崎市、大阪市)で、障害者の雇用と教育事業を展開しています。

障害者求人掲載数2000件以上で業界No.1の「BABナビ」をはじめ、人材紹介「BABナビエージェント」、就職転職フェア「BABカンファレンス」、定着支援サービス「ワクサポ」、就労移行支援事業「ワークイズ」など雇用に関する事業と、放課後等デイサービス「テラコヤキッズ」、個別指導学習塾「情熱!テラコヤ塾」など教育に関する事業を展開。

「BEYOND ALL BORDERS」の理念のもと、誰もが挑戦できる社会を目指し、サービス領域を拡大しています。

本社所在地 : 〒108-0014 東京都港区芝 5-14-13 アセンド三田 3F

代表取締役 : 杉本 大祐(すぎもと だいすけ)

資本金 : 1,000万円

設立 : 2009年8月

事業内容 : 障害者雇用促進事業(コンサルティング、人材紹介、面接会、定着支援、研修、就労移行支援)
障害者教育事業(放課後等デイサービス、個別指導塾、ビジネススクール)

■本リリースに関する報道関係のお問い合わせ

株式会社D&I 社長室(谷口)

TEL:090-5248-3696 / 03-5439-9766 MAIL:info@d-and-i.jp / taniguchi@d-and-i.jp